

マーケットの動き (2023年12月18日～12月22日)

先週の為替市場は、前週末比で米ドルは対円で上昇（円安）しました。

12月の日銀金融政策決定会合で金融緩和維持が決定されたほか、植田日銀総裁から政策修正を示唆する発言もなかったことを背景に国内金利が低下すると、円が全面安の展開となり米ドルは145円付近まで上昇しました。クリスマス休暇を控える中、週後半は売買材料に乏しく、持ち高調整などから円が買い戻されて週を終えました。

ユーロは前週末比、対円・対米ドルともに上昇しました。

投資環境見通し (2023年12月)

円に対して米ドルは緩やかに上昇、ユーロは小幅に下落

米ドル：変動率が低水準にとどまる中、日米金利差を背景とした円売りドル買いの動きから、ドルは円に対して上昇圧力が続くものとみています。ただし、米国長期金利が上昇一服となっており、また日銀がドル売り為替介入を行うとの見方もあることから、ドルの上値は限定的とみています。

ユーロ：低迷する生産活動や低調な輸出を背景に弱含むユーロ圏景気を背景に、ユーロは円に対して小幅に下落するとみています。

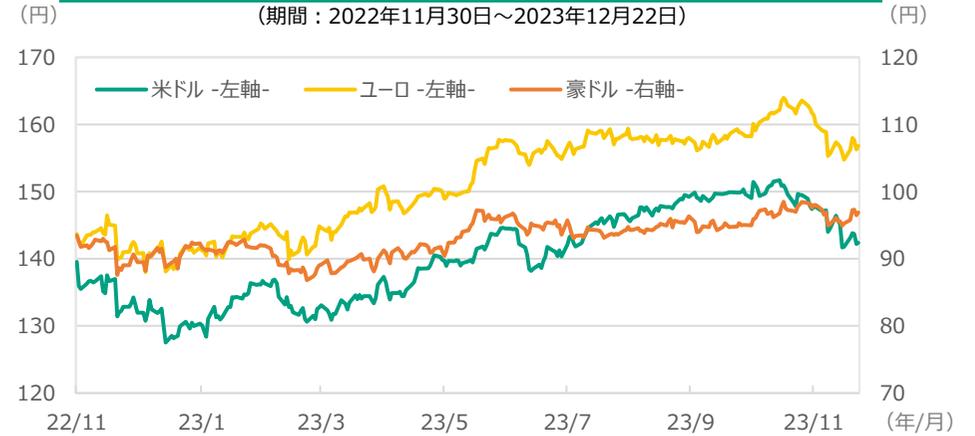
	12月22日	変動幅 (円)			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
米ドル/円	142.38	0.62	▲7.31	▲0.41	10.12
ユーロ/円	156.79	2.06	▲5.86	0.31	16.59

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202312_outlook.pdf

為替レートの推移 (対日本円)



為替レートの推移 (対米ドル)



※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>